



ミナミメダカ

メダカ科 全長4cmくらい
水田の水路や流れの緩やかな川を行き来しながら繁殖する。生息環境の減少で数が激減している。名前の由来は目の位置が高く見えるため。【準絶滅危惧】



カダヤシ

カダヤシ科 全長3～5cm
北米原産。蚊の幼虫ボウフラ駆除のために移入された。胎生魚で、メスは直接稚魚を産み出す。メダカに似ている。【特定外来生物】



グッピー

カダヤシ科 全長3.5～5cm
中米原産。観賞魚として移入されたものが野生化。下水処理水の放流で水温が高めの柳瀬川でも見かける。メダカやカダヤシによく似ている。



メダカの見分け方

在来種のメダカはミナミメダカとキタノメダカの2種で、関東周辺にはミナミメダカが分布する。
ミナミメダカは外来種のカダヤシやグッピーとよく似ているので見分けには注意が必要。

ミナミメダカ



ミナミメダカの背中には黒褐色の筋がある

背びれに切れ込み

〈オス〉



長く幅広い平行四辺形

〈メス〉



オス・メスともに、尾びれの端が直線的

カダヤシ

〈オス〉



細く交尾器になっている

〈メス〉



尾びれの端が丸い

ヒメダカ



赤やオレンジ色のヒメダカは、観賞用につくられたメダカの改良品種。川や池に放流しないようにしましょう。

グッピー

〈オス〉



個体差があるが、カラフルな体色

背びれがカダヤシよりも前にある

〈メス〉



尾びれの端が丸い